

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・IK	写真・GT
山行NO.	1883		
日時	2020年9月5日(日) 晴れ・暑い		
山域	西丹沢=犬越路からの1350m峰・南尾根～犬越路		
コース	長泉6:00-白石キャンプ場駐車600m 発8:10-大室山南尾根-犬越路への分岐1350m10:30-下山開始10:45-犬越路避難小屋-分岐-用木沢-駐車場着12:40-】白石キャンプ場にて昼食、水浴び-15:30 出発-合谷さん宅にて直会18:30 まで-長泉		
累計標高差	上り	駐車場600m～1350m 分岐=約650m	
	下り	同上	
藪漕ぎ	上り	アザミがいたい	
難易度	非常に困難	困難	やや困難 レ普通 やや易しい 易しい
今年は大マゴダケはなかった			
参加者	後藤、加藤、星、勝又、合谷、井上=6名		

最強台風10号が九州を通過しようとするなか、天気が読めず2つの計画が示されていた。

- ①土曜は昨年同様、丹沢の大室山で大マゴダケを狙い、キャンプ。日曜に川遊び
- ②天気が悪ければ、富士山2352m峰日帰り

前日のメールで、あまりに暑い場合は川遊びで、まあまあの場合は大マゴダケ+川遊びとなり、準備は山登りと川遊びとどちらでも対応できるように悩まされた。

昨年の2019年9月7日に大室山に登っている。この時は大マゴダケが豊作で、合谷さん宅でバター炒めにしていただいた。同じ尾根を登れば、今年も大マゴダケが採れると思っていた。



昨年の大マゴダケ

6:10 新潟運輸下バス停で乗車。車内で本日のコースが発表される。毎度のミステリーツアー。8:00 昨年駐車した用木沢出合いは、その手前の橋で2m四方の道路の陥没があり通行止め。Well キャン

場に駐車できそうだったので、誰もいないのでワイパーに電話番号を書いたメモを置いて出発した。Well キャンプ場の北にある白石キャンプ場に管理人（佐藤幹彦さん）がいらっしやったので聞くと、駐車したところはレッカーで持っていかれるから、うちに停めるようにとのこと。車を停めなおして 8:10 再出発。（注・1）用木沢出合いの尾根にとりつく。この時点ですでに昨年登った尾根と違っていただけが気づかなかった。前回下った尾根だった。（注・2）



出発

本日の目標は、標高 1200m 付近のタマゴダケ生息域だ。いきなりの急登で踏みあとのない斜面を登る。私はほぼ 2 か月ぶりの登山で体力が心配だった。昼には戻ってくる予定なので昼食とビールは置いていき荷物は 1kg 軽い。昨年は、完全にへばってしまい、数歩登っては立ち止まって休憩する状況だったが、この 1 年山を登ったことでだいぶ楽になっている。2 ヶ月ぶりに自然の真ん中に身を置くことができることに幸せを感じる。気温は高くないが風はほぼなくズボンに落ちた汗は乾かないのは昨年同様。細い尾根のアップダウンはなかなかスリルがある。

標高 1000m を越えても 1200m になってもタマゴダケはおろかその他のキノコもほぼなし。昨年豊作だったから今年はないのか、雨不足や猛暑が原因か。

星さんが 1100m くらいで、「もうここで待つよ」というので、星さんと勝又さんが下で待っていることを伝えるために、先に行った後藤さん、加藤さん、合谷さんを追いかけた。1350m で一般道に出たところでそれを伝えたが、来た道に戻らないとのことだった。登ってきた尾根は昨年下りで使った尾根であり予定とは違うコースであったことと、登ってきた道はなかなかに厳しいのでそれを下るより、犬越路への一般ルートを下った方が楽だという判断だった。（注・3）



ここで、後藤さんと合谷さんは一般ルートを下り、加藤さんと私が、星さんと勝又さんのところまで戻り下山することになった。決まったところで加藤さんが「星さーん」と呼び掛けたところ返事があり、登ってきていることがわかった。そのため、2人が登ってくるのを待って全員で犬越路コースで下山することになった。一般ルートは整備されているので、とにかく楽。

その代わり長い。途中、多少の登り返しがきつかった。犬越路の避難小屋を過ぎて分岐で右折し、ガラガラの沢を下る。沢の中は風がなく、太陽が真上にあり暑い。登ってくる男性3人と女性1人のグループとすれ違った。登山道が崩れて迂回する。用木沢に出て沢に沿って歩き、小さな支流で休憩し頭、顔、首を濡らし冷やすと気持ちいい。

用木沢沿いにある大ブナは枯れて、真っ白なサルノコシカケをはやした根本が残り、それ以外は



2020/9/5 用木沢大ブナ 半分以上消滅



2011/1/8 少なくともこの時点は元気
・・・ネット

沢に落ちていた。

用木沢出会いに戻り、駐車場 14:40 ゴール。駐車料金の交渉をだれがするか相談したが、やはり加藤さんが「おじさーん♡」といえ、きっと安くなるだろうということで決まり。交渉の結果、一人 100 円ということになった。合計 600 円。その後、折りたたみ椅子を人数分貸してくれた。加藤さんのお色気作戦成功。後で加藤さんの年齢が佐藤さんと大して変わらないことを言ったらすごく驚いていた。若い女性から甘えられたと思っていたようだ。一番奥の一番いい所を使わせてくれた。今から思えば、これも加藤さん効果だったと思う。



昼食

後藤さんと加藤さんと星さんはフライパンを出し、肉、野菜、チーズをバターで焼く。勝又さんは自前でソーセージとホタテの貝柱を焼く、合谷さんはお手製弁当、私は金ちゃんヌードル。勝又さんからおすそ分けをもらい、星さんからサラダラーメンと加藤さんが準備したそうめんをもらい、焼き物をもらいと、おなかはぱんぱんになった。

女性 2 人が川に入るといっているので一緒に行く（連れてかれる）。水は冷たく、肩までつかると、1 分も入ってられない。それでも水の中で、体をこすり汗を流すと大変気持ちよい。加藤さんは今日も泳ぐ。後藤さんがキャンプ場の佐藤さんと仲良くなり 500mL のビール 2 本をもらって川に来た。（注・4）男 4 人で回し飲み。15:30 キャンプ場を出発。

食べなかったゆで卵とチーズちくわを佐藤さんに進呈。加藤さんのリップサービス「佐藤さん、後藤じゃなくて加藤だよ」を何度も叫んだ。

2次会は裾野千福の合谷邸。合谷さんの作ったクラフトビールをいただく。さわやかな黒ビール。昨年同様に合谷さんの誕生日を歌で祝う。18:30 解散。今日もフルコースの1日だった。その後、大きな「事件」が発生した。(注・5)

以上



白石キャンプ場＝佐藤幹彦さん

その他の記述（後藤）

注・1 駐車料金1日＝500ー

注・2 Kは、「ここは昨年下ったルート」と明言。ただ、Lが「そうかな～」で、再確認しないで、ズルズル上ってしまった。

注・3 G Yが昨年、転倒したらしい。

注・4 佐藤さんは、若い感じで同年配と思ったが、77歳だった。昔のニシタン（西丹沢）をよく知っていた。昔話に花が咲いた。

注・5 5日、丹沢の帰り、合谷宅で直会。合谷さんの誕生日と、合谷ビア・初出荷を祝った。ビアは、サッパリ系で美味しかった。ご馳走様でした。丹沢は12:30ころ下山し、白石キャンプ場で既にイッパイやった。

合谷宅を後にして、竹沢種苗店前で井上君を下して、下土狩に向かう。既に暗くなり、加藤ドライバー以外は、朦朧としていたかも知れない。

鮎壺交差点で左折し、稲荷神社手前の交差点を右に曲がった所で、近所のオジサンに、「開いている、開いている」と言われた。最初、???で、何のことか分からなかった。実は、後ろのドアが開いていたのだ。誰も気が付かなかった。竹沢から約3.49kmを走ってしまった。前代未聞。

危なかった・事故るところだった。幸い、落下物はなかったようだ。

しかし、誰も気が付かなかったとは???!!!これいかに。

井上君も「覚えていない」という。

今後は、お互いに注意しましょう。特に暗くなった夜は要注意。

飲酒も進んでいるので、更に注意。

事故がなく本当に良かった。